

川島町のすべて 子供たちへの メッセージ

川島町のマスコット
「かわみん」と「かわべえ」



こんにちは。川島町長の飯島和夫です。

私が小学生・中学生の頃は、今のようにスマートフォンやゲームもなく、自然の中で友達と思いきり遊んでいたことを思い出します。

川島町は、川に囲まれた自然豊かな町ですが、最近は、圏央道のインターチェンジや国道の近くにはたくさんのお店や工場も作られ、これからも発展していく町だと思います。

最近の社会はすごいスピードで変化し、また、技術は日々進歩しています。そして、社会が大きく変わろうとするなかでの、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、社会の変化は加速度を増し、また、複雑で予測困難な状況になってきています。

川島町では、皆さんが「新たな時代において活躍できる力」を身に付けることができるよう、教育の環境を整え、また、質の高い教育をすることで、川島町の子供たちを精一杯支援していきます。

私から皆さんに、お願いがあります。「川島町の宝」である皆さんは一人ひとりそれぞれ素晴らしい個性を持っています。

自分だけでなく、他人の個性も尊重し、困っている人がいたらぜひ、助けてあげてほしいと思います。

川島町で育った皆さんが今後社会の様々なステージで活躍されることを心から期待しています。



川島町長
飯島 和夫

基本理念

共に学び 絆を深め 未来を拓く かわじま教育



5つの基本目標

(1) 質の高い学力と新たな時代を生き抜く力の育成

子供たちの個性や創造性を伸ばすため、質が高くきめ細かい教育を推進することで、志を高く持ち、我が国や町の未来を拓く子供を育成します。

新たな時代に対応するための論理的な思考力や問題を解決する能力を培うために、「教える」授業から「学ぶ」授業への転換を図ります。特に、グローバル化が進行する社会において、未来を拓くための創造性やチャレンジ精神、多様な他者と交流できるための語学力・コミュニケーション能力を育みます。

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

豊かな人間性や社会性を身につけるため、学校・家庭・地域が相互に連携・協働して道徳教育や自然体験・社会体験などの充実を図ります。

生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康・体力づくりを目指し、規則正しい生活習慣や体力の向上を図ります。

(3) 質の高い学校教育を推進する教育環境の整備・充実

個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、学校規模の適正化、9年間の学びと育ちの連続性を重視した小中一貫教育の推進、GIGAスクール構想の実現によるICT教育の推進などにより教育環境の整備・充実を図ります。

全ての子供たちが個に応じた教育が受けられるよう指導方法や指導体制の工夫・改善、特別支援教育の充実を図ります。「川島方式子ども学習支援システム」を充実させ、学力のより一層の向上を目指します。最大の教育環境である教師が学び合い、高め合うことで、資質・能力の向上を図ります。

(4) 生涯学習のまちづくりの推進

生涯を通じて学習、スポーツ等活動するための環境と学ぶための仕組みづくり、人と人との絆を深める「地域活動センター」を核とした地域の学びの充実、「総合型地域スポーツクラブ」を中心としたスポーツの活性化を図ります。

魅力的な生涯学習講座やスポーツ教室、イベントの充実を図り、学び・活動する楽しさを発見し継続できるように取り組みます。

社会教育施設を集約し、各種団体の活動支援、施設利用者の利便性の向上を図ります。

(5) 地域の様々な課題を解決する社会教育の充実と伝統文化の継承

自然災害、多文化共生、人口減少、少子高齢化、つながりの希薄化、持続可能な開発目標（SDGs）（※）に向けた取組など長期的な視野に立った地域社会づくりを推進するために、社会教育の充実を図ります。文化財の保護・活用、伝統文化を継承するために「郷土資料館」を設置し、川島町の歴史・文化を学ぶことにより、郷土を愛し、誇りに思う心を醸成します。

※ SDGs: 2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

この教育大綱は、法律に基づき、町長と教育委員から構成される「総合教育会議」で策定されました。令和3年度から5年間の町の教育行政の指針となります。